

平成20年8月11日

宇 都 宮 市 長 様

宇都宮市自治基本条例を考える会議
会 長 藤 本 信 義

宇都宮市自治基本条例を考える会議提言書の提出について

宇都宮市にふさわしい自治基本条例の内容を検討するため、平成18年6月23日に設置された「宇都宮市自治基本条例を考える会議」において、平成20年7月29日までの2年1か月の間に、全体会を18回（5回の分科会を含む。）、広報班会議を9回、提言書検討委員会を5回、合計32回の会議を開催し、議論を重ねてきました。

公募市民23名、学識経験者及び各種団体代表者等13名、市議会議員6名、市職員6名の合計48名で構成されたこの会議で、委員全員が活発な意見交換や議論をしながらまとめた「宇都宮市自治基本条例に盛り込むべき内容」などについて、下記のとおり提言いたします。

会議としては、この提言書の趣旨が十分に活かされた条例が制定されることを、強く期待します。

なお、この条例を真に実効性あるものとするためには、自治を担う主体である市民、市議会議員、市職員等が、条例制定の趣旨とその内容を十分に理解され、これを基盤として、新しい時代に向けた、宇都宮らしい自治を育み、推進していくことが必要となります。この条例の策定及び制定後の運用に当たっては、それらを深める取組を不断に行っていくことを強く望みます。

記

宇都宮市自治基本条例を考える会議 提言書
別添「提言書」のとおり